

令和2年度第2回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和3年2月3日（木）午後3時30分から4時45分まで
2. 開催場所 市役所本庁舎4階中委員会室
3. 出席者 市役所会場での参加：松上会長、田中委員、
Zoomでの参加：多賀委員、野崎委員、浅野委員
事務局：井上教育長（挨拶のみ）、石田センター長、高花主幹、
岸下主査補、長谷川主任主事
4. 欠席者 上田委員
5. 傍聴者 2名
6. 議題 ①令和2年度の事業実施状況について（公開）
②令和3年度事業計画について（公開）
③白井市教育振興基本計画について（公開）
④その他
7. 配布資料 資料① 令和2(2020)年度事業報告
資料②-1 令和3(2021)年度事業計画（案）
資料②-2 プラネタリウム館新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン
資料③ 白井市教育振興基本計画（抜粋）
8. 会議での確認・承認事項
 - ①令和2年度事業の経過確認
 - ②令和3年度事業計画（案）の承認
 - ③教育振興基本計画 プラネタリウム館「現状と課題」内容の確認・承認
9. 議事 以下のとおり

事務局

井上教育長は挨拶の後、退出。初顔合わせとなる出席者の自己紹介の後、松上会長の司会のもと会議を進める。

議題①「令和2年度の事業実施状況について」事務局より報告を行う。
資料①令和2(2020)年度事業報告 参照。

今年度は、緊急事態宣言を受け、5月まで文化センターが閉館となったが、それ以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いつつ、「惑星」をテーマに事業を進め、火星の大接近や、木星と土星の会合について多くの情報を発信することができた。

一般投映については、新型コロナの状況がつかめない6月から11月までは「今宵の星空散歩」という、投映者それぞれが、お勧めの天文現象や星空を語る、投映者の力量に任された番組を行い、変化する状況に柔軟に対応することができた。11月からは当初の計画に沿って、「ベツレヘムの星」、1月

	<p>からは、「ゆく星くる星」を制作投映している。</p> <p>子ども向け投映は、6月から9月まではオート番組「まいごになったトリケラぼうや」を行いそれ以降、木星と土星の番組「しましま星とドーナツ星」、「クリスマスアワー」の制作・投映を行った。</p> <p>投映時間は、通常日曜のみ子ども向け投映を土曜日の午前中にも行い、消毒・掃除の時間を取るため午後1時半の一般向け投映を中止。午後は3時の投映のみ行った。そのため子ども向け投映の回数は前年度より多くなったが、入場者数を1回30人までとし、おはなし会やクリスマス等のイベント投映も中止したため、来館者数は前年度より少ない。一般向け投映は投映回数も少なく、来館者数も前年度の半数以下と大幅に減少する見込みである。</p> <p>学習投映については、通常であると、市内のすべての小学4年生は、年3回プラネタリウムに来館するが、今年度は、市内9校中5校が2回、3校が1回来館し、1校は学校としては1回も来館できなかった。1月も再び緊急事態宣言が発令されたため、受け付けていた市内9校の予約が全てキャンセルとなった。市外の学校も通常だと40校程来館するが、今年度は、現時点で8校のみ。来館人数も通常の約4分の1である。</p> <p>学習投映は、1クラスごとに行う事を推奨し、他の学校とは座席に余裕がある場合も一緒にしなかった。学校単位で来館できなかった七次台小学校4年生と南山小学校6年生には、休校日にクラスごとに投映日を設け、希望者に個人で来館してもらった。そのため、来観者数は大きく落ち込んでいるが、投映回数は、前年度とほぼ同じとなっている。</p> <p>イベント投映については、「ライブコンサート」及び「にんさんぷラネタリウム」、「ひよこプラネタリウム」は中止としたが、「プラチナアワー」や「ジャズアワー」などは新型コロナ対策を行いつつ投映した。回によっては、制限人数を超え、入場をお断りする程であった。あなただけのプラネタリウムは、今年度、今までに14組の投映を行ったが、身内だけで投映を楽しむため、コロナ禍ならではの需要が感じられた。</p>
会長	令和2年度プラネタリウム「投映事業」部分報告について意見はあるか
●●委員	市外小中学校の来館者人数の減少理由はなにか。
事務局	<p>平成31年度の減少理由は3月にセンターが休館したため。その前年では、予約していたが、台風で来館が中止になった場合もあった。市外来館校は、例年安定おり、現在、印西市は、ほぼすべての小学校が年に1度は来館している。また、鎌ヶ谷市、松戸市、柏市等白井近隣小学校の利用もあり、その部分で、隔年で来館する学校もある。学校の先生の異動などによっても来館校に変化が生じる。</p>

	(配布資料中「令和2年度 学習利用状況(市内)」に訂正あり。 市外来館校 H29年48校→35校 H30年45校→34校 H31年40校→30校)
●●委員	近隣の学校にもっと宣伝をしてはどうか。
事務局	毎年4月に、例年来館する学校と、バスや電車で約30分圏内にある学校に郵送で案内を出している。近隣のプラネタリウムとバッティングしない様にも気を付けている。
●●委員	市内の学校の投映回数が増えたため、市外の学校を断ったことはあるか。
事務局	予約が通常と比べ非常に少なかったため、ない。
●●委員	幼稚園・保育園の来館状況はどうか。
事務局	市外は6園来館。市内の園は全くなかった。通常市内はすべての幼稚園・保育園が来館する。松上委員の園で、園外行事は行ったか。
●●委員	園内でできる行事で計画をたてた。2月にお別れ遠足で園外に出る計画があるが、この状況で、実行できるか未定。
事務局	小学校の校外学習はどうであったか。
●●委員	時期をずらして、9月に3年生が修学旅行、10月に5年生が校外学習に行くことができた。屋外の行事なので運動会はできたが、学年をまたいで一緒に行う行事は行わなかった。
●●委員	他に意見・質問はあるか。では令和2年度「投映外事業」部分についての報告をお願いします。
事務局	予定していた「はやぶさ2」の天文講演会は、今年度は中止となったが、来年度、市制記念20周年事業と関連付けて開催する予定。 観望会は予約制、先着30人とし、各回毎月1日に受付を行うが、その日のうちに定員に達する人気。当初、予約者のキャンセルが多かったが、今はリピーターも増え、キャンセルもなく落ち着いている。観望方法は、開始当初、月などをプロジェクターで壁に大きく写してみていたが、惑星を映した時の画像が悪く、感動が薄かったため、透明なフィルターを各グループに渡し、それを目に当て、望遠鏡レンズを覗いてもらっている。時間は、解説と観望

	<p>で1時間に収まるようにしている。</p> <p>大人のための天文教室もリピーターが多く、新型コロナの感染状況が落ち着いてくるにしたがって参加人数が増えてきた。スター・キッズ・クラブは、募集が緊急事態宣言中の5月であったため、定員20名に申し込みは13人であった。しかし、講義・実習を行うのに良い人数であった。</p> <p>最後にドーム貸し切りについてだが、2件の受け入れがあり、1件は6時間の利用であったため、一気に歳入が3万円×6時間で18万円増えた。もう一件は、市内の方がドームでコンサートを開いたもので、2時間の貸し切りであった。</p>
会長	令和2年度プラネタリウム「投映外事業」部分の報告について意見・質問はあるか。
●●委員	コロナ禍の中で、注意喚起がされているが、高齢者の利用状況に変化はあるか。
事務局	大人天文教室や、ジャズアワー等、シニアが多いが、定員に達することもあり、気にしている人は気にしている様だが、気にしていない人は気にしていない。
会長	他に意見はあるか。では、令和3年度の事業計画についてお願いします。
事務局	<p>議題②「令和3年度事業計画について」事務局より報告を行う。</p> <p>資料② 令和3(2021)年度事業計画(案)参照。</p> <p>令和3年度は「食」をテーマに事業を進める。食に関する番組として、子ども向け投映「まあるいお月さま大へんしん」を制作予定。</p> <p>一般投映の「へびつかい座」は、今年度予定していた番組が新型コロナで流れてしまったもので、7割方番組ができています。電波望遠鏡は、今年度プラチナアワーで取り上げたテーマで、それを膨らませて番組とする。</p> <p>中止していた「にんさんぷらネタリウム」、「ひよこプラネタリウム」は再開するが、「ライブコンサート」は当面の間中止。演奏者謝礼の予算の計上はしたので、後期に新型コロナが落ち着いたら検討したい。</p> <p>一般の投映時間は、今年度と同じく、11時30分に子ども向け、15時に一般向けを行う。また、土曜・日曜の13時30分に、「プラチナアワー」や「ジャズアワ」等のイベント投映を平日の1回から、2回に回数を増やして行う。</p>
会長	令和3年度事業計画「投映事業」部分までで、質問や意見はあるか

●●委員	<p>「食」がテーマだが、普通の人にとって「食」といえば食べる「食」である。白井は梨が有名なので梨のレシピを紹介したり、ガリレオ衛星食と、17世紀のイタリアや、ガリレオの好物などの「食」と絡めて話を進めるのも面白いと思う。</p>
事務局	参考とする。
●●委員	ひよこプラネタリウムやにんさんぷラネタリウムの定員に子どもの数も含めるのか？
事務局	子どもも1人とカウントし、定員30人なので、最大で15組ほどとなる。
●●委員	小さい子どもも来ると思うがマスクは着用するのか。
事務局	<p>今年度も、2才以下だったら、マスクの着用はしなくて良いとしていたが、赤ちゃん以外ほぼマスクを着用してくれた。マスク着用を嫌がる子もいたが、紙マスクにお絵かきをしたら、素直に着用してくれたこともあった。</p>
●●委員	30人を少し超えてしまう場合はどうするのか。
事務局	<p>今年度も定員間際に定員を超える4~5人の団体や、券売の列に並ぶタイミングで、定員を超える場合があったが、受け入れた。柔軟に対応したい。</p>
会長	他に意見はあるか。では令和3年度計画「投映外事業」部分について願います。
事務局	<p>観望会は今年度と同様、予約制、定員30人で行う。不特定多数が参加する「昼間の星を見る会」と月食等の「特別観望会」は当面の間中止する。通常では、ボランティアがそれぞれの望遠鏡につき、セッティングと共に観望天体の説明もしてるが、ボランティアとお客さんの接点をできるだけ減らすため、しばらく観望天体の説明も職員がメインで行う様にする。</p> <p>天文講演会は、今年度中止になったものを再び計画している。当初6月に予定していたが、現状をみて8月に日程を移した。申し込み方法は、前回の会議でご提案いただいたメール受付とハガキ申し込みの両方で行う。今年度もメール受付を活用したがとても便利であった。往復ハガキで申し込みされた方には、来年度の講演会に優先的にご招待する。募集人数は一応400人とし、市制20周年記念事業と関連付ける。</p> <p>ここで委員の皆様、ドーム貸し切り料金について、ご意見を伺いたい。</p>

	<p>今年度初めて 2 件の貸し切りがあったが、その中で見えてきたことで、以下の案を提案する。</p> <p>今回、6 時間という長い時間の貸し切りがあったが、下見の時間も含めると更に長い時間の拘束があった。仕事に支障をきたさない範囲として、貸しだし時間を 4 時間までとしたい。</p> <p>料金については、貸し出し時間が、1 時間でも 2 時間でも、準備等に要する手間は同じなので、2 時間までは、たとえ利用が 1 時間であっても 6 万円とし、それ以降の超過時間については、借り手の使い勝手を考慮し、料金の 3 割にあたる 9 千円。利用別日にリハーサル等でドームを使用する場合は、料金の 9 割の 2 万 7 千円とした。この割合は、文化会館の延長料金の設定を参考とした。この設定についてご意見を伺いたい。</p>
●●委員	<p>当館は貸し出しをしていないので、なんとも言えないが、単なる場所貸しであれば高いと思うが、プラネタリウムという空間なので決して高くはないと思う。他の館の料金は調べたか。</p>
事務局	<p>調べた。渋谷は 1 時間 10 万円近くしており、厚木は無料。(後日調べたところ、星を出す場合 1 時間 3 千円。星を出さない場合 1 時間 500 円) 多賀委員が歌の発表などで利用する事を想定するとどうか。</p>
●●委員	<p>歌の発表は、公民館等を利用しているので、この料金は高いが、プラネタリウムという空間は魅力的である。</p>
事務局	<p>料金について、事務局側でももう少し検討する。</p>
会長	<p>では、次に「白井市教育振興基本計画について」お願いする。</p>
事務局	<p>白井市教育振興基本計画のプラネタリウム部分についてご確認をお願いする。今まで何回かご確認いただいたが、これが最終稿である。前回との変更点は、写真が削られ、アンケートグラフが大きくなった点である。</p>
全委員	<p>特に意見なし。</p>
事務局	<p>白井市教育振興基本計画 82 ページ参照。文化センター全体のあり方について検討することとなったが、その検討委員会の 1 回目が 1 月 28 日行われた。第 1 回目は、議長の選任や基本的な事項について、今後のスケジュールの協議を行った。運営協議会の委員の方々には、令和 3 年度以降の会議の議題、議事内容の報告を見ていただき、これから予定している、各センターの関係</p>

	団体へのヒアリング時にご意見をいただきたい。
会長	あり方検討委員会について意見はあるか
●●委員	文化会館は天井修繕のことが、検討事項に挙げられていたが、プラネタリウム館での検討事項はあるか。
事務局	5年前に機械の更新が行ったので、単独での大きな検討事項はないが、今後センターの老朽化が進む中で、センター全体での大きな修繕等が必要となってくる。その中で、修繕を行いながらセンターの運営を続けるのか、規模を縮小するのか、廃止するのか、各館のそれぞれの意見も吸い上げながら、それをあり方検討委員会で検討し、市へ提言することとなる。なので皆様からのご意見も吸い上げていきたい。
会長	他に意見はあるか。 ではその他の議題お願いします。
事務局	質問であるが、幼稚園では来年度事業は、例年通りで計画しているのか。
●●委員	一応、新型コロナ以前の例年通りの事業を計画しており、プラネタリウム館へも来館する予定である。
●●委員	小学校も例年通りに計画はしている。
●●委員	高齢者の意見として、やはり新型コロナが高齢者は重症化すると聞いているので、人ごみの多いところはほとんど行かないようにしている。今回の話で、シニア向け投映が定員に達することがあると聞いて驚いている。
●●委員	人により、温度差があると思う。学校でも、子ども達が外に出ることは避けるが、外部から人がくるのは拒まないところがある。東大和では職員が学校に呼ばれるケースが多いので、このような状況が続くようであれば、プラネタリウムではないが、学校で何かできることを考えるのも良いかもしれない。
●●委員	園として外に出るのは不安だが、小さな子どもを家にずっと閉じ込めているのもかわいそうだし、プラネタリウムで、そのようなイベントがあれば行きたいと思う人はいるので、事業を行えば来館者は来ると思う。

事務局	<p>今、館を閉めるのは簡単なことだが、開けることはとても大変なことである。換気が良いという、建物の構造に助けられた部分もあるが、職員が開けるために、できるだけ努力を行い、6月以降事業を行ってきた。今後もこの状況は続くと思う。来年度は更に、にんさんぷラネタリウムとひよこプラネタリウムを再開するが、プラネタリウムを開くことにご意見はあると思うが、来るか来ないかは、後はお客様にまかせ、自分たちはやることをやって待つというスタンスである。</p>
●●委員	<p>努力を認める。このような来られない状況なので、通常来館が少ない若者を呼び込む意味でも、講座などバーチャルで挑戦してみてはどうか。はやりのアニメのネタを解説に取り入れても面白い。このような状況であるが、前向きに検討して良いと思う。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
会長	<p>他に意見はあるか。 では、これで令和2年度第2回目のプラネタリウム館運営協議会を終了する。</p>
	<p>以上</p>